

令和３年度 第３回理事会

日 時：令和３年６月１１日（金） １４：００～１５：３０

場 所：特別会議室（つくば市）、テレビ会議（日立市、川崎市）

I．議 題

- １． 令和２年度決算について（非公表）
- ２． 令和２年度事業報告書について（非公表）
- ３． 令和２年度及び第４期中長期目標期間における業務実績に関する自己評価書について（非公表）

II．報 告

- １． 監事の監査報告（案）について（非公表）
- ２． 令和３年度 研究・育種部門における職員の採用について（非公表）
- ３． 開発品種等の普及のための技術指導の実施状況（令和２年度）について
- ４． 「令和３年度整備局長等会議」の開催について
- ５． 森林保険センターにおける一般職員（大卒程度）の採用募集について（非公表）

III．その他

- １． 今後の行事予定について
- ２． 主要行事
- ３． 令和３年５月に森林総合研究所が広報した研究成果

開発品種等の普及のための技術指導の
実施状況(令和２年度)について

１．技術指導の実施状況

林木育種センター及び各育種場(北海道、東北、関西、九州)では、開発した優良品種等の早期普及を図るため、都道府県や民間の認定特定増殖事業者等に対し、採種穂園の造成・改良等に係る技術指導を実施。

令和２年度の実施状況は次のとおり。

令和２年度 技術指導の実施状況

講習・指導項目	回 数	(参考) 令和元年度 の実績
講習会	27	24
会議での指導	22	23
現地指導	92	89
来所(場)者への指導	39	69
文書での指導	72	75
合 計	252	280

2. 令和2年度に実施した技術指導の取組事例

(1) 講習会(九州育種場)



① 実施日 令和2年12月15日

② 対象者 鹿児島県大隅地域振興局、市町村、苗木生産者等 29名

③ 内 容 採穂木の育成管理、さし穂の選択、さし木増殖、特定母樹の特性

(2) 講習会(東北育種場)



① 実施日 令和2年10月29日～30日

② 対象者 新潟県森林研究所 16名

③ 内 容 クロマツ採種園およびスギ採穂園の管理実技
(写真 スギ採穂木からさし穂を選択する実技)

【機 2】

【関係者限り】

令和３年６月１１日

理事会資料

森林整備センター

「令和３年度 整備局長等会議」の開催について

１．概要

森林整備センターは、本年５月に、令和３年度整備局長等会議を開催した。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止と業務継続の観点から、整備センターと整備局及び水源林整備事務所を加えてのWebミーティングによる開催となった。

会議では、志知所長、井田理事からの訓示・挨拶の後、各整備局長から本年度における重点取組事項の報告を受け、幹部と整備局長等との意見交換を行った。

部門別会議では、整備センター各部室から所管事項の説明を行った。

２．開催日時

令和３年５月２０日(木)～５月２１日(金)

３．場所

森林整備センター会議室（川崎市）

４．出席者

志知所長、井田理事、中西総括審議役、堂込総括審議役、各審議役、各部室長ほか幹部
各整備局長、各水源林整備事務所長

５．内容

- （１）志知森林整備センター所長訓示
- （２）井田理事挨拶
- （３）各整備局長からの令和３年度重点取組事項等報告・意見交換
- （４）各室課からの報告・説明

Ⅰ 森林管理部所管事項説明

- 森林・林業政策をめぐる動向
 - ・ 森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法の延長及び改正の概要
 - ・ 今後の路網整備の考え方
- 令和３年度計画及び業務実績評価等(企画管理課)
- 職員の労働安全対策、職員の採用等(労務課)
- 令和３年度予算等(財務課)
- 会計実地検査等(資金会計課)
- 事務・業務改善の推進等(森林管理部)
- 内部監査報告等、コンプライアンス重点取組方針等(監査・コンプライアンス室)

Ⅱ 森林業務部所管事項説明

- 第5期中長期目標、中長期計画及び令和3年度計画
- 水源林造成事業の課題と対応方針
- 令和3年度水源林造成事業実行に関する指示事項
- 労働安全衛生指導及び森林総合監理士育成の取組
- 分収造林契約（育成複層林）による面的整備について
- 令和3年度水源林造成事業実行にあたっての留意事項
 - ・ 事前評価等実施済の箇所に係る新規契約等の計画的締結等（森林企画課）
 - ・ 令和3年度予算の執行及び進捗管理等（森林事業課）
 - ・ 木材供給の推進、育成複層林等（資源利用課）

<局長からの意見等>

- ・ 林業従事者の数が減少。当センターだけの問題でなく、林業界の問題として国、県、林業団体等の共通認識のもと、改善できる方法を探る必要がある。
- ・ 平成31年度より主伐・販売業務の拡大等に対応するため、収穫・販売量の多い九州整備局等において、先行的に組織体制の整備を実施してきた。令和3年度から中国四国整備局等でも販売業務等の体制整備がなされたことから、九州整備局等の取組結果を踏まえ、取組を進めていくことに当たり、協力等をお願いしたい。
- ・ コロナ禍において、感染の拡大防止及び業務継続のため、シン・テレワーク等を活用して、自宅等勤務を行っている状況であるが、現場としてテレワークが困難な業務があることも事実。今後、引き続き検討が必要である。

以上

今後の行事予定について

日 付	研 究	整 備	保 険	行 事 名 等	場 所 等
6月17日～18日		○	○	会計実地検査	森林整備センター 森林保険センター
6月18日	○	○	○	国立研究開発法人審議会林野部会	森林総合研究所
6月30日	○			改質リグニン製造実証プラント竣工式	茨城県常陸太田市宮の郷町
7月6日～7日	○			令和3年度九州地区林業試験研究機関 連絡協議会場所長会議(Web会議)	森林総合研究所九州支所
7月9日	○	○	○	第4回理事会	森林総合研究所
7月13日	○	○	○	国立研究開発法人審議会林野部会	農林水産省第3特別会議室

※会議については、新型コロナウイルス感染拡大状況により時期および開催手法が変更となる場合がある

主要行事(令和3年5月14日～令和3年6月10日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
5月14日(金)	【共】第2回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
17日(月)	【研】第1回国際連携推進委員会	研究担当理事
18日(火)	【育】育種運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事
19日(水)	研究所等リスク管理委員会	研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事
〃	【研】産学官民連携推進委員会及び地域イノベーション推進委員会	研究担当理事
20日(木)	【保】第1回森林保険運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事、森林保険センター所長、鈴木監事
〃	【整】第1回事業運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事、鈴木監事
24日(月)	調達等合理化委員会	企画・総務・森林保険担当理事
〃	(一社)日本森林学会総会(Web会議)	研究担当理事
27日(木)	第1回産学官民・国際連携推進本部会議	理事長、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、両監事
〃	【研育】研究企画・運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、両監事
〃	【共】第1回機構会議	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
28日(金)	【研育】業績審査委員会	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事
〃	【研】第1回地域情勢交換会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
5月31日(月)	林業薬剤協会総会	理事長
6月1日(火)	永年勤続表彰授与式	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
7日(月)	庁議(リモート開催)	理事長

※ 【研】: 森林総合研究所、【育】: 林木育種センター、【整】: 森林整備センター、【保】: 森林保険センター、【共】: 共通の行事 の略

令和3年5月に森林総合研究所が広報した研究成果

広報タイトル	研究者・担当者 名	掲載誌名 (論文公開時期)	ウェブサイト掲 載日
ビデオカメラの映像から降雪粒子の大きさと 落下速度を測る	勝山 祐太 (森林防災研究 領域)	Scientific Online Letters on the Atmosphere (2021年2月)	5月10日
動画を撮るだけで作業道を三次元化	瀧 誠志郎 (林業工学研究 領域)	森林利用学会誌、 35巻4号、203-208 (2020年10月)	5月10日
太い幹の内部でミネラルが半径方向に移動す る実態を立木の実験で解明	黒田 克史 (木材加工・特 性研究領域)	Forests, 12, 251 (2021年2月)	5月11日
クロマツは細根の分布を変えて滞水ストレスを 回避する	野口 享太郎 (東北支所)	Frontiers in Plant Science, 12, 614764 (2021年3月)	5月11日
やんばるの希少着生ランは共生菌の選り好み が激しい	木下 晃彦 (九州支所)	Journal of Forest Research (2021年1月)	5月21日
新たな食材の可能性を秘めたトリュフを発見	木下 晃彦 (九州支所)	Mycologia (2021年4月)	5月21日
CO2の吸収源として機能する北極圏ロシアの タイガ・ツンドラ境界域	鄭 峻介 (森林管理研究 領域)	Polar Science (2021年2月)	5月21日
やんばるでは、地上性のマングースが飛べる 鳥にも悪影響を及ぼしていた ～固有鳥類3種 の保全にはマングースのさらなる防除が不可 欠～ (プレスリリース)	八木橋 勉 (森林植生研究 領域)	Biological Invasions (2021年4月)	5月25日
農作物を食べた野生ニホンジカは早く成熟す る ―農作物の採食が更なる農業被害を招く ―(外部主導プレスリリース 農研機構)	中下 留美子 (野生動物研究 領域)	Ecosphere (2021年4月)	5月6日